

第10回

共に考える姿勢と客観的なアドバイスを

親の就活。

「就職活動が激変している!」。そう言われ続けて久しい。しかし、わが子が就活に直面してからようやく自分たちとの違いを実感し、戸惑う親は後を絶たない。親自身も早い段階から『就活』への意識改革を図るため、まずは現状を知っておきたい。



選考を重ね、必要な人材だけが選ばれる。



親世代の就活期は夏場の1~2カ月間、数社を受けた中でほぼ決められた。しかし現在は企業側の求めるレベルに達していなければ、予定数に達しなくても採用しない厳選採用傾向が主流だ。コネや推薦も絶対ではなく、大学のブランドも通用しないシビアさ。学生らは数十社にエントリーし、実際に20社、30社という数の試験を受けている。企業は能力や人間性を見極めようと選考を重ねるため就活期間は半年以上に及び、卒業ギリギリまで就活する学生も少なくない。

リアルな就活のホントがこれ

スケジュールを意識しないと取り残される

就職活動のスケジュールは親も認識しておく必要がある。親世代の就活に比べかなり早く、最終学年の春からそろそろ...では遅い。企業の採用活動早期化の是非論はさておき、下記がリアルな流れだと思っただきたい。1~2月のうちに、子どもがどんな企業を目指しているのか話し合っておく必要があるだろう。

大学生・短大生等の就活スケジュール(例)

スタート期	12月	●1日~企業の採用広報開始 (※例年より2カ月遅れ) ●各種合同企業説明会が開催されはじめる
	1月	●合同企業説明会がピーク
本格活動期	2月	●各企業単独の会社説明会(会社訪問)が開催されはじめる
	3月	●エントリーシートの提出(上旬に締切の企業も)
大手の選考 内々定ピーク期	4月	●1日~企業の採用選考開始 (筆記・面接など) ●選考試験・面接がピーク ●先行する大手企業は「内々定」を出し始める
	5月	●県内大手・中堅企業はGW頃までに「内々定」が確定 ●県内大手・中堅企業は選考を終え、中小企業などを中心とした採用活動が活発になる
	6月	●公務員試験が始まる
中小企業の選考 内々定ピーク期	7月	●中堅・中小企業の選考、「内々定」がピーク
	8月	●公務員合格発表

社会の価値観が変わってきている。



現在は、出身大学や性別で差別をしない一般公募形式が増えている。あくまで「人物本位」とされるが、この曖昧さにより学生たちにも期待と迷いが生まれる。親は「大学まで出たのに」と有名企業にこだわりがちだが、進学率が高くなり大卒の価値が下がっている事実を否めない。その中で誰もが『大企業志向』を捨て切れなければ、大企業の競争率だけが上がってしまう。そこで注目したいのが、成長株の中小企業だ。知名度にとらわれて、目の前の優良企業との縁を逃してしまうのはもったいない。何より大企業に入れば安泰という時代ではないことを、親子共々心しておきたい。

親子de就活

エントリーシート

子どもの代わりに書くのはもちろんNGだが、書類として不備がないか、文章の意味が通るかの確認、誤字脱字のチェックはしてあげたい。できれば書く前に親子で話し合っておく。わが子に強みを教えてあげよう。子どもを一番理解しているのは親。ただし客観的な視点を忘れずに。

面接

子どもの服装や髪型、身だしなが整っているかどうかを、まず確認。面接練習の相手になり、口調や言葉遣い、話すテンポ、声の大きさ、主語述語があるきちんとした会話になっているかを見てあげよう。親のアドバイスは素直に聞いてもらえない場合、ビデオ撮影して確認させるのも手だ。また、面接の出来具合を尋ねるときは慎重に。親は子どものモチベーションを次につなげることに気を配りたい。

NGヘアレンツ ワースト3

これだけは気をつけよう!

1 価値観の押し付け

「〇社がいい」「あの職種はダメ」など、自分の価値観を押し付けない。時代とともに価値観は変化しており、それは企業研究をしている学生の方がわかっている。ただし、若さゆえ情報を鵜呑みにしてしまうこともある。可能であればそこで働く人を紹介するなど、実際の話が聞ける機会を与えてあげたい。

2 無関心

「何もわからないから好きにしない」といった突き放すような言葉は、自由に使っていいように本人を追い詰める。明確な基準がない就職試験は、子どもにとっては初めての体験で、不安や挫折感が常につきまとう。実質的な指導はできなくても、親が強力な味方であることが、大きな心の支えになるのだ。日頃はノータッチでも、就活だけは別と心得よう。

3 過干渉

近年増えているのが、子どもに代わって面接の連絡の連絡を入れたり、採用について直接問い合わせをしてくる親。企業にとってはマイナスの評価にしかならない。たとえ子どもから頼まれても「それは自分でやること」と理解させ、様子を伺う程度に。親の強力なサポートで希望の会社に入れたとしても、その先が辛くなるだけだ。

セミナー・イベント情報

2/4(土) パソコンスキルセミナー

●時間: 9時30分~16時30分
●会場: システムキャリアアップラボ(福井市御幸)
●対象: 就活中の概ね39歳までの方、
定員20名(要予約)
●内容: ビジネス上で必要なプレゼンテーション作成の基礎を学ぶ。

2/9(木) 熱意を伝える「企業へのアプローチ」セミナー

●時間: 13時30分~15時
●会場: 福井商工会議所ビル内会議室
●対象: 2013年3月卒業予定の学生、
定員15名(要予約)
●内容: 電話・メール・手紙・SNSなどを活用しながら熱意をアピールする企業へのアプローチ法を学ぶ。

2/14(火) 就職サクセスロード

●時間: 13時~16時
●会場: 福井商工会議所ビル内会議室
●対象: 就活中の概ね39歳までの方、約10名要予約
●内容: 自分を見つめなおす第1ステップと企業研究の第2ステップを経て、ジョブカフェのアドバイザーが1人ひとりに合わせて就職支援。

2/23(木) 面接突破実践セミナー

●時間: 13時30分~15時
●会場: 福井商工会議所ビル内会議室
●対象: 2013年3月卒業予定の学生及び就活中の概ね39歳までの方、定員15名要予約
●内容: 採用試験のカギとなる「面接」を乗り切るために、ロールプレイングを通して学ぶ。

グループディスカッション

●時間: 15時30分~17時
●会場: 福井商工会議所ビル内会議室
●対象: 2013年3月卒業予定の学生、
定員15名要予約
●内容: 採用試験で年々増えてきているグループディスカッション。突破のための議論のプロセス「協同性」「リーダーシップ」を磨く。

毎週火木開催 模擬面接

●時間: 9時~11時30分
●会場: ふくいジョブカフェセミナールーム
●対象: 就活中の概ね39歳までの学生を含む方、
各回3名(要予約)
●注意事項: 履歴書持参、面接を受ける服装で。

「日中に相談に行けない!」 「今の仕事で悩んでいる!」 イブニング相談

●毎週水曜日 19時30分まで実施中!
●1日4名まで(予約制)

(申し込み・問い合わせ)
福井県若者就職支援センター
福井ヤングハローワーク

ふくい ジョブカフェ

TEL.0776-32-4510 月曜日~金曜日 9:00~17:00
FAX.0776-32-4555 イブニング相談(予約制) 毎週水曜 19:30
web@fukui-jobcafe.com
〒918-8580 福井市西木田2-8-1(福井商工会議所ビル1F)

働きたい人、働く人をサポート!
情報満載の「ふくいジョブカフェ」HP
アクセスはこちら
www.fukui-jobcafe.com

ミニジョブカフェ教賀 敦賀市三島町2-1-6 火~金 10:00~17:00
TEL.0770-23-5416

ミニジョブカフェ小浜 小浜市大手町4-1 火~土 9:00~17:00
TEL.0770-52-3542

ジョブカフェは39歳までの若者を対象とした就職支援のためのワンストップサービス機関です。